

部	外	活	動
---	---	---	---

一寄稿一

- ◇助教授 丹羽 登「超音波厚味計」電気工學論文集 第1巻 第2號(昭和24年9月號)
- ◇教授 久保田廣「位相差顯微鏡」應用物理 6~7 月號(昭和24年)
- ◇教授 藤高周平, 助手 藤井新兵衛, 大學院特別研究生 麻布忠雄「送電線閃絡點標定器」OHM 第418號(昭和24年11月)
- ◇助教授 齋藤成文外「高周波誘電加熱に於けるグリッド型電極に就いて」電気學會雜誌 第733號(昭和24年11月)
- ◇教授 永井芳男「インダスレン染料に關する二三の問題」化學の領域 11 月號
- ◇助教授 亘理 厚「スピンドルの運動と危険速度」織維機械學會誌 第2巻 第12號(昭和24年12月)
- ◇教授 山内恭彦「酸素原子及びビオンと輻射場及び自由電子との相互作用」電離層研究論文集 第3輯(昭和24年12月)
- ◇教授 福田節雄外「遮斷器の開閉能力について」電気學會雜誌 第734號(昭和24年12月)
- ◇教授 福田義民, 河添邦太郎「吸着塔に關する基礎的研究」化學機械協會年報 第7巻
- ◇助教授 齋藤成文「高周波加熱の所要電力計算表」OHM 第421號 21 頁(昭和25年1月)

一講演一

- ◇助教授 末岡清市「Radiofrequency Spectrum」の形について」日本物理學會分科會(昭和24年10月22日)
- ◇助教授 豐田利幸「高エネルギーの中性子陽子散亂について」日本物理學會分科會(昭和24年10月22日)
- ◇講師 渡邊勝, 大學院特研生 三井田純一, 助手 佐藤正千代「湯川ポテンシャルによる中性子陽子散亂について」日本物理學會分科會(昭和24年10月22日)
- ◇教授 福田義民, 渡邊仁, 川端弘「サイクロン脱塵器に關する研究」應用力學會 昭和24年11月8日(講演者 渡邊仁)
- ◇教授 菊池眞一「現象の理論」日本化學會東海支部特別講演 昭和24年11月13日
- ◇助教授 大井光四郎「ショアの硬さについて」日本機械學會講演會(昭和24年11月13日)
- ◇教授 星合正治「電界漫想」電気, 電気通信, 照明學會關西支部連合講演會(昭和24年11月19日)
- ◇教授 久保田廣, 助教授 荒哲哉「補色鏡の理論とその應用」寫眞機技術懇談會(昭和24年11月22日機械試驗所において)
- 一著書一
- ◇教授 安藝峻一「水書」139 頁, 11 圖, 100 圓(學生書房)
- ◇教授 星合正治, 助教授 齋藤成文(風誠三郎, 尾佐竹洵, 瀧保夫柳井久義と共著)「電気工學基礎實驗法」298 頁, 350 圓, (昇龍堂)
- ◇教授 増野實「二, 三の蛋白質に關する研究」應用力學集書 第1巻(昭和24年11月10日發行)

編集後記

- ◇人間誰しも幸福を望まぬものはない。ところで、戦争が人間社會の最大の不幸だということをもつて知つたわれわれは、何にも増してこの不幸から逃がれたいと思う。
- ◇競馬の大穴のように幸運は手離しても舞いこもるが、幸福は努力の働きの上に訪れる。しかも、ゆるめた手からは幸福の手綱はするりと抜けゆく。
- ◇知性の働きを職業とするものにとつて、平和の幸福を捉え、持ち続ける努力こそ永遠の使命である。
- ◇千圓札の登場によつて百圓札の生産は低下したが、何年ぶりか十何年

ぶりかで、「あれや安くなりましたよ」というような話が聞かれるようになった。東京の街では木造の電車はほとんど見られなくなつたし、電車の窓にも大がいがガラスがはめられそれも磨かれて光つている。

◇生産は確に復興しつつある。その結果がわれわれ自身に幸福をもたらすのでなければならない。とするからにはそのための「生産研究」でなければならない。

◇生産技術の進歩と戦争。この二つが「卵が親か鳥が親か」という難問と並べて持出されたのは全くの過去のものとして、「生産」の「研究」を續けてゆきたい。(I. S.)

* バックナンバーあり、至急御申込下さい

編集委員

- 編集委員長 *星 合 正 治
- 編集委員 *井 口 昌 平(土木)
- 鈴木 弘(機械)
- 安 藤 良 夫(船舶)
- 齋 藤 成 文(電気)
- 星 野 昌 一(建築)
- 石 井 義 郎(應化)
- 加 藤 正 夫(冶金)
- 小 川 正 義(精密)
- 富 永 五 郎(物工)
- 大 井 光 四 郎(數力)
- 鳥 飼 安 生(應物)
- 武 藤 義 一(分析)

編集幹事 下村潤二郎

編集室 水野晴明

(* 印は當番委員)

壁體は地震に對して骨組以上の力を分擔して建物の崩壊を防ぐ。本試験體は鋼筋コンクリート耐震壁の効果を研究するために坪井研究室で作られた剪断試験體の一形式で、内枠を固定、外枠に回転を與えたと中間のテーパー付セメントモルタル圓板は均等な剪断力を受け、實際の耐震壁が地震を受ける場合とはほぼ同じ状態になる。

第2巻 第3號 生産研究 定價 60 圓(郵税 3 圓)
1950年2月25日印刷 1950年3月1日發行

編集者 星 合 正 治
東大生産技術研究所
千葉市千葉局内彌生町
電話 千葉 366-370

印刷所 大同印刷株式會社
東京都千代田區神田錦町3-1

發行者 小 川 誠 一 郎

發行所 株式會社 誠 文 堂 新 光 社
東京都千代田區神田錦町1-5
電話 神田 (25) 2126-2129
振替 東京 6294・6567

印刷者 井 關 好 彦